



## 横浜華僑総会 会長

### 謝成發

共通認識  
にしたが  
つて行動  
し、問題

中国と日本、引越しので  
きない両国の関係がますま  
す良好なものになるよう、  
まと手を携えて頑張って  
いきたいと思います。

新年好！  
あけましておめでとうござります。2016年の新春にあたり謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。  
戦後70周年を迎えた2015年を振り返ると、中日関係は多くの人々の努力により糾余曲折を経て改善の兆しが顕著になりました。幅広い友好団体はその理念を貫き、初志を忘れず両国の民間交流を推し進め、両国民の理解促進と中日関係の雰囲気改善のため地道な努力を払つてまいりました。私ども横浜華僑総会も、中日善隣友好を搖らぐことなく貫き、中日関係の重大な問題で正義の声をあげ、民間の交流を積極的に進め、草の根の友好事業を開してまいりました。

2016年、中日関係は更なる改善に向け次なる一步を踏み出しました。今後も両国が確実に中日の四つの政治文書と四つの原則的友好交流と協力強化を促す力強い後ろ盾です。

は一歩一歩着実に改善に向かうことでしよう。

近年、中国の大型連休を利用して、多くの中国人観光客が日本を訪れ、日本の経済を下支えする流れが形成されています。いまでは、百貨店の店内放送で中国語を耳にすることも、ごく普通の光景になりました。

観光客の目に、日本の風景とともに人々のよきふるまいが記憶に残つてほしいものです。



提供  
横浜中華街発展会協同組合



振り袖姿の留学生一同で記念撮影

11月26日、川崎市内の「米山ビジネスファッショング専門学校（米山実校長）」で同校に通う中国人留学生13名が振り袖を着て日本の文化に触れるとともに、会場に集まつた生徒や関係者らと交流を深めた。

「日中友好ファッショング交流」と銘打つたこのイベントは、戦後70周年を記念して企画したもの。

艶やかな振り袖姿の留学生が登場すると、会場は一気に華やぎ盛り上がった。

着付け指導をした「きら

美学苑」の石毛卓子苑長から、帯の形や歩き方、改まった席での作法のお話などに一同は真剣に聞き入つていった。

参加した留学生たちは「振り袖を着るのは初めて、良い思い出となつた」「日本の着物は大変美しい」などと嬉しそうに話していた。

## 初めての日中友好ファッション交流

### 中国人留学生が着物の着付けを体験

して青少年交流や文化交流を発展させ、日中の若者が

理解を深めようと、当協会

の女性部会（田島孝子部会長）が中心となつて初めて企画したもの。